

せいしょ ふくいん  
《聖書》ヨハネによる福音1:6-8,19-28

あぶらそそ もの  
油注がれた者

で たみ  
エジプトを出たイスラエルの民は、  
オリブの茂る豊かなカナアンの地に  
定住することができました。オリブ  
の実から取れる油は、穀物とぶどう酒  
とならんで、神がイスラエルの民に恵  
まれた食べ物であり、神の祝福のしる  
しと考えられていました。油は、食  
べ物だけでなく、身体を強めたり、傷  
をいやしたり、又、光としても用いら  
れてきました。

あぶらそそ もの こ  
「油注がれた者」は、ヘブライ語の  
「メシア」、ギリシヤ語の「キリスト」  
という言葉の意味です。旧約聖書にお  
いて、「油注がれた者」は、王、  
祭司、預言者に使われています。油注  
がれることは、神の霊によってある  
職務に任命されることを表わしてい  
て、民の中で神の代理者としての職務  
をふさわしく果たすことができるよう  
に聖別されるのです。

ふくいん かほう つ  
イザヤは福音と解放を告げるため  
に、洗礼者ヨハネは神の道を整えるた  
めにそれぞれ預言者としての召命を  
受けました。預言者たちは、その当時  
の「油注がれた者」である王であって  
も、神に対して不忠実であると判断す  
れば、きびしい態度を示しています。  
わたし しゃ あぶらそそ  
私たちキリスト者もまた「油注が  
れた者」です。洗礼及び堅信の秘跡の  
ときに、神の霊を受けたしるしとして  
聖香油を受けました。

じたい ひとびと あぶらそそ  
イエスの時代の人々は、「油注がれ  
た者」へ多くの期待を持っていました。  
しかし、イエスはそうした人々の期待  
に答えないで死んでしまいました。  
わたし あぶらそそ もの なん  
私たちも「油注がれた者」が何と  
かしてくれると期待するのではなく、  
私たち自身が「油注がれた者」とし  
て、預言者の役割を果たしていくように  
努力する必要があります。今の社会の  
流れが、福音に反するものであれば、  
それに対してははっきりと自分の意見を  
表わしていきましょう。

たいこうせつたい しゅじつ ねん たきの  
待降節第3主日B年 (滝野)